

低学年児童期の 学習

～保護者のみなさまへ～



第10回

子どもは何をエネルギーにして勉強に励むの？



多くの親は、「わが子には熱心に勉強して優秀な人間になってほしい」と願います。そこで、子どもをがんばらせようといろいろ試みます。しかしながら、「勉強しなさい!」「がんばりなさい!」と言うだけでは子どもは頑張ってくれません。そして、「問題は子どものやる気だ」ということに気づきます。ところが、子どものやる気を高めるのは意外と難しく、悪戦苦闘しておられる保護者が少なくありません。



そこで今回は、子どもは何をがんばりのエネルギーにして勉強に励むのかについて、考えてみましょう。つぎの4つのうち、子どものがんばりを引き出す最も大きな要素はどれだと思いますか？

次のうち、どれがいちばん子どものがんばりのもとになるでしょうか？

1. 「なぜこうなるのだろう。もっと知りたい!」という、探求心や好奇心
2. 「おとうさんやおかあさんの期待に応えよう!」という気持ち
3. 「成績が上がったら、ご褒美がもらえる!」という、報酬への期待
4. 「大人になったらお医者さんになりたい!」という、将来の目標



さて、答えはわかりましたか？ 実は、子どもの学習意欲のもととは年齢とともに変化します。それは子どもの精神面の成長によるものです。以下、小学校入学時から高学年にかけての子どもの学習意欲の源がどのように変化していくかを簡単にご説明してみましょう。



このつづきは、会員限定（会員専用ページ）でお読みいただけます。

- 3年部で入会をご検討の場合、個別授業体験をいつでも受け付けております!!
- 1～3年サンプルや案内資料のご希望もお気軽に!